

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 19 日作成)

委員会名	SRC 造配筋指針改定小委員会	主 査 名：三谷 勲
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：三谷 勲
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	本委員会は、1994 年制定の「鉄骨鉄筋コンクリート造配筋指針(案)・同解説」の改定を目的に設置された WG をうけて、本格的な改定作業にはいるため 2002.4 に設置された。最新の研究成果を取り入れ、また単位系を SI 単位に変更する改定作業に入っている。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：三谷勲(神戸大学) 幹事：坂口昇(ものづくり大学) 委員：東知宏(間組)・市田幹郎(佐藤総合計画)・小野里憲一(工学院大学)・毛井崇博(竹中工務店)・清水弥一(KS 設計)・称原良一(清水建設)・竹村寛恭(大成建設)・谷田雅廣(大林組)・筒井茂行(日本設計)・西村泰志(大阪工業大学)・林博之(日建設計)・深沢協三(日本建設業経営協会)・益尾 潔(日本建築総合試験所)	
設置 WG (WG 名：目的)	SRC 造配筋指針付録編集WG ： SRC 造配筋指針・付録の改定および SI 単位系への変更。	
2003 年度予算	250,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 5 回：2003 年 4 月 25 日・15 名 第 6 回： 5 月 23 日・11 名 第 7 回： 7 月 18 日・13 名 第 8 回： 11 月 28 日・12 名 第 9 回：2004 年 1 月 9 日・13 名 第 10 回： 1 月 23 日・8 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 最新の研究成果を取り入れ、SI 単位系へ変換を図った改定原稿を完成させた。現在、鋼コンクリート構造運営委員会内で査読中である。 また、小委員会議事録、指針の構成・改定方針等を学会ホームページ内の鋼コンクリート合成構造委員会のページで公開している。 委員会 HP アドレス： http://www.kobe-u.ac.jp/scs/AIJ-SCCS/index.html
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の計画より改定原稿の完成が遅れ、本年度中に構造委員会の査読を予定していたが、来年度に持ち越しとなった。
その他評価すべき事項	